

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	青柳 憲昌

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
「法隆寺金堂壁構法の復元的考察」	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』2022年6月、pp.361-364	青柳憲昌・林畝乃香	
「近世・近代の土蔵の外観と構法」	共著	2022年7月	『歴史都市防災論文集 Vol.16』第16号	吉川奎・青柳憲昌	49-56
「天明・元治大火前後における京都の町家の平面形式の変化」	共著	2022年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	村岡勇気・青柳憲昌	383-384
「京都府亀岡市の酒井家住宅・廣瀬家住宅の建築的特徴」	共著	2022年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	北村奈都樹・青柳憲昌	381-382
「構法史——いまつくるための建築史」	単著	2022年9月	『構法史のアクチュアリティ——構法と歴史から、いまつくることを考える(日本建築学会大会パネルディスカッション資料)』所収、日本建築学会建築計画委員会	青柳憲昌	24-29
「京都西陣・旧吉澤家住宅の復元的考察」	単著	2022年10月	日本建築学会『日本建築学会技術報告集』	青柳憲昌	1535-1540

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「壁画収蔵庫の建築理念～文化財の防災と活用～ —法隆寺シンポジウム—壁画収蔵庫竣工70年～法隆寺金堂壁画のいまと明日」主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、共催：文化庁、朝日新聞文化財団	単独	2022年2月	「法隆寺シンポジウム—壁画収蔵庫竣工70年～法隆寺金堂壁画のいまと明日」	青柳憲昌
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2021年度事業報告」	共同	2022年3月	2022年3月12日、第7回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合／第8回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	青柳憲昌
公開研究会「青柳憲昌著『日本近代の建築保存方法論—法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』を読む」第8回日本建築学会近畿支部建築史部会公開研究会、回答者として、於・大阪科学技術センター404号室	共同	2022年12月	第8回日本建築学会近畿支部建築史部会公開研究会	青柳憲昌

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「この人に聞く 第158回 法隆寺の昭和の大修理から学ぶ建造物の保存活用 青柳憲昌氏」『建築士』（833号）、2022年2月号、日本建築士会連合会、pp.4-7	単独	『建築士』	2022年2月
朝日新聞「収蔵庫 文化財防災の象徴」朝日新聞（全国版）2022年3月30日29面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞（全国版）	2022年3月
「新刊紹介 光井渉著『日本の歴史的建造物 社寺・城郭・近代建築の保存と活用』青柳憲昌、『建築史学』（78号）2022年3月、pp.185-188	単独	『建築史学』	2022年3月
『豊岡市出石伝統的建造物群保存地区防災計画』豊岡市出石振興局地域振興課・立命館大学歴史都市防災研究所他編、豊岡市発行、2022年3月、pp.27-45、pp.161-163	共同	『豊岡市出石伝統的建造物群保存地区防災計画』	2022年3月
「西陣寺之内通の町家——無名文化財の活用のしかた」青柳憲昌・是永美樹『住宅建築』2022年6月号、pp.102-111	共同	『住宅建築』2022年6月号	2022年4月
「国立京都国際会館 台形+逆台形の架構表現と『日本的なもの』」『構造デザインマップ関西』総合資格学院、2022、pp.142-143	単独	『構造デザインマップ関西』総合資格学院	2022年5月
北海道新聞「コンクリート寺院・仏舎利塔 大正初期函館に日本初 RC 造」『北海道新聞』2022年6月23日9面（誌面にコメント掲載）	その他	北海道新聞	2022年6月
「鉄骨住宅の反省から伝統構法の批判的合理化へ」青柳憲昌 『広瀬鎌二建築展 SH + 第5回 カタログ』広瀬鎌二アーカイブズ研究会、2022、pp.22-27	単独	『広瀬鎌二建築展 SH + 第5回 カタログ』広瀬鎌二アーカイブズ研究会	2022年11月
「三者三様 織屋建を訪れて」令和4年度ぶんぶんカフェイベント③、西陣寺之内通の町家フィールド調査解説、古材文化の会主催、2022年11月26日	共同	西陣寺之内通の町家	2022年11月
「出雲大社の『千木』——「道具」以前の、想像を超えるつくりかた」青柳憲昌、『建築士』、日本建築士会連合会発行、2023年1月号、表紙見返し	単独	『建築士』	2022年12月

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
建築史学会	建築史学会賞	『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和の大修理と同時代の保存理念』青柳憲昌、中央公論美術出版、2019	2022年4月

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	阿部 俊彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
2050年のスポーツ（スポーツが変わる未来／変える未来）	共著	2022年6月	晃洋書房	一般社団法人スポーツと都市協議会 監 伊坂 忠夫 編著 花内 誠 編著	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
話題カテゴリを用いた流域治水シナリオ作成ワークショップの分析—歴史都市京都府亀岡市における保津川流域を事例として—	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集	阿部俊彦、他6名	
災害復興における再建のための空き地から、平時の活動の場としての空地へ	共著	2022年9月	日本建築学会 都市計画委員会 2022年度日本建築学会大会（北海道）都市計画部門 PD資料集 縮小時代における空き地活用の方法論	阿部俊彦	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
駅前公共空間の活用推進ワークショップの開発およびその分析について —滋賀県草津市南草津駅前におけるUDCBK社会実験準備事業を通して—	共著	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集（オーガナイズドセッション）	青山柊、寶珍宏元、阿部俊彦
幼少期の遊びに着目した地域住民の記憶の集積地となる回想空間の設計提案（建築デザイン発表）	共著	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集	深井麻理奈、阿部俊彦、武田史朗
模型の繰り返し製作による公共空間の過ごし方を考えるワークショップの効果 滋賀県草津市南草津駅前におけるUDCBK社会実験準備事業を通して	共著	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集	寶珍宏元・青山柊・阿部俊彦

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
JR 茨木駅西口周辺まちづくりワークショップー運営支援		単独 茨木市	

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
国土交通大学校 専門課程 建築計画（企画・設計）研修 講師	単独	2022/12	国土交通大学校	阿部俊彦
スポーツ健康科学総合研究所シンポジウム「都市とスポーツ」	共同	2022年12月	立命館大学	阿部俊彦、ほか
都市環境デザインセミナー「都市と建築をつなぐアクションリサーチ」講演	単独	2022年10月	JUDI 関西ブロック	阿部俊彦
震災復興まちづくり訓練 第1回訓練講演		単独	2022/10 東京都葛飾区	阿部俊彦
Disaster Restoration of Port Town Triggered by Opposition to the Construction of Seawalls @AIA NY DfRR	単独	2022/06	American Institute of Architects New York The Design for Risk & Reconstruction Committee	Toshihiko Abe
UDCBK アーバンデザインスクール（前期）第1回 講演 第2～5回のコーディネーター	単独	2022/06	UDCBK	阿部俊彦
JR 茨木駅西口周辺まちづくりワークショップ キックオフミーティング講演		単独 2022年3月	茨木市	阿部俊彦

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
復興デザイン会議	復興計画賞	気仙沼内湾ウォーターフロント、「迎」ムカエル、「創」ウマレル、「結」ユワエル、「拓」ヒラケル	2022年
土木学会	デザイン賞 優秀賞	内湾地区のウォーターフロント	2022年

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電子情報工学科	教授	泉 知論

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
小型自律移動ロボットのための環境設置 カメラによる位置推定の試行	共同	2022年2月	画像電子学会 第299回研究会, 21-03-28, pp.167-172	中村宣彬, 泉知論
確率分布に対する超角錐近似と初期解の 生成	共同	2022年6月	電子情報通信学会 技術研究報 告, vol.122, no.60, RECONF2022-15, pp.63-67	竹中健太, 松井優貴, 泉知論
高位合成向け乱数生成ライブラリの拡充	共同	2022年9月	電子情報通信学会 技術研究報 告, vol.122, no.174, RECONF2022-37, pp.47-52	浅海悠人, 泉知論
画像認識による害獣検知の試行	単独	2022年9月	電子情報通信学会ソサイエティ 大会, AS-1-2	泉知論

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	大窪 健之

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
文化遺産防災（13章 自然災害に対する人文・社会科学的アプローチ）	分担執筆	2022年1月	丸善出版『自然災害科学・防災の百科事典』		588-591
10章「ネパール・パタンの歴史地区－震災後の住民へのヒアリング調査から」、ほかコラム	分担執筆	2022年8月	新曜社『文化遺産と防災のレッスン－レジリエントな観光のために』		132-145

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
歴史地区における豪雨災害に備えた避難所機能のニーズ評価－マーケティング手法を用いた整備項目の評価と提案－	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 vol.16	大窪健之・福永靖史・金度源	113-120

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
火災情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの機能向上と評価に関する研究－豊岡市出石伝建地区でのオンライン防災訓練を通して－	共同	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.169-176	南本一樹・大窪健之・金度源
まちなかコモンズ整備事業を活用した密集市街地の防災整備に関する研究	共同	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.183-190	廣山達哉・大窪健之・金度源
歴史的な地区の防災活動状況や住民の防災意識に関する研究－奈良県五條市五條新町重伝建地区を対象として－	共同	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.211-218	金度源・倉本紗季・大窪健之
ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性－ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として－	共同	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.219-226	里中涼華・大窪健之・サキヤラタ, 金度源

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「Disaster Risk Preparedness and Mitigation for Built Heritage」	単独	2022年2月	Disaster Risk Management Plan for the Nuestra Senora de Caysasay Church and its Associated Structures	

“Kakekomi-dera” or sanctuaries in 311 Tsunami - Heritage sites used as temporary shelters -	単独	2022年2月	The 2022 International Symposium of Asia-Japan Research, Webinar	
「Project for Protecting Historic District of Traditional Wooden Buildings from Fires due to Earthquakes in Kiyomizu, Kyoto」	単独	2022年8月	Expert Session 「Resilience of Historic House Museums and their Collections to Risks posed by Climate Change, Environmental Disasters and Conflict Zones」 26th ICOM General Conference	
1995年阪神・淡路大震災直後の対応と課題～その時何が起こっていたのか～	単独	2022年9月	さんのみや防災のチカラ	
JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】	単独	2022年10月	JICA 課題別研修	
「伝統的な街並みが備える防災資源の再評価」	単独	2022年11月	立命館大学・土曜講座	
「街頭消火器の配置計画の検討」	共同	2022年11月	加悦重伝建地区「防災学習会」	大窪健之、金度源、学生

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
奈良市	令和4年度奈良市表彰（市国際文化観光都市建設審議会委員）		2022年11月

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム	本学共同者	その他	2020-070342			日本
消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者	2014-206815			日本

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	大場 修

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
くらしの景観 日本と中国の集落	共著	2022年3月	臨川書店	奥谷三穂他1名編	167-195

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
那須岳三斗小屋温泉大黒屋本館の復元的考察－湯の信仰にねざす山小屋建築	共著	2022年2月	『日本建築学会技術報告集』第28巻 第68号	奥矢恵, 大場修	465-470
出石伝統的建造物群保存地区における建築物の延焼脆弱性の定量化と二方向避難・放水範囲拡大のための対策提案	共著	2022年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』	平尾和洋, 田邊勇樹, 大場修	73-80
出石伝統的建造物群保存地区における町家の平面・意匠分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共著	2022年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』	大場修, 平尾和洋, 中村魁	81-88
宇治茶生産集楽和東町湯船岩倉地区における集落構成および伝統的建造物・環境物件を含む景観の分析	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	上田圭太郎, 三輪晋也, 平尾和洋, 大場修	169-172
宇治茶生産集楽和東町湯船地区におけるデータ分析と編年・民家変遷に関する考察	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	嶋津祐哉, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	173-176
全国の漁家主屋の平面類型と兵庫県津居山集落における平面に関わる考察	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	大場修, 田崎幹大, 平尾和洋	177-180
漁村の集落形態の類型とその発展図式に関する考察 ―全国的視点と北近畿地方における事例調査から―	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	平尾和洋, 川田泰歩, 大場修	181-183
出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	藤木大真, 中村魁, 平尾和洋, 大場修	261-264
出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証および消火活動と二方向避難の提案	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	田辺勇樹, 平尾和洋, 大場修	269-272
和東町湯船地区の製茶農家における主屋と茶工場の構造的特徴	共著	2022年6月	『日本建築学会北海道支部研究報告集』第95号	辻仁紀, 大場修, 平尾和洋, 奥矢恵, 三輪晋也	367-370
兵庫県津居山集落における漁家平面に関わる類型とその考察	共著	2022年7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	本田暁彦, 田崎幹大, 大場修, 平尾和洋	33-34

出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証及び消火活動と二方向避難の提案	共著	2022年7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	饗庭優樹, 田辺勇樹, 平尾和洋, 大場修	675-676
出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共著	2022年7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	山田迪与, 中村魁, 平尾和洋, 大場修	677-678

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
京町家から江戸町家へー東日本の町家の系譜とその出自ー	単独	2022年9月	京都市景観・まちづくりセンター「京町家再生セミナー」	大場修
明倫小学校と京都番組小学校の明治ー大正ー昭和	単独	2022年2月	京都芸術センター「藝文京芸術教室」	大場修
「共有柱型町家」に関する調査報告	単独	2022年3月	新潟県佐渡市「佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議」	大場修
亀岡・旧丹波亀山城下・町並の特徴と価値	単独	2022年3月	京都府亀岡市「第3回城下町まちづくり検討会」	大場修
泉大津の町並 町家から地場産業都市を読み解く	単独	2022年7月	大阪府ヘリテージマネージャー協議会「浜街道まち歩きと歴史的まちなみの活用を考える」	大場修
日本の中の京町家ー京町家の成り立ちと京都型町家への展開ー	単独	2022年9月	町家をトーク運営委員会「町家を語る講座」	大場修
京都人が知らない京町家ー「京町家カルテ」が目指すものー	単独	2022年11月	NPO 神戸茅葺きネットワーク	大場修
丹波地域の街道を彩る町家の特徴と地域性	単独	2022年11月	森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業プログラム	大場修
民家調査の歴史と編年	単独	2023年2月	大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習	大場修
近世京町家の造りと暮らし	単独	2023年2月	一般社団法人 千總文化研究所「[シリーズ京都のまちの中の三条室町] 第2回特別講演会」	大場修
京町家とはなにか・京都の人も知らない京町家の世界	単独	2023年2月	京都大学・オンラインセミナー 京大リベラルアーツ教室・京町家編	大場修
日本の町家と町並み・その地域性と普遍性 1. 京都型町家と在地型町家・日本の中の京町家 2. 店棟造り・東日本の町家はどのようにできたのか?	単独	2023年3月	飯田市歴史研究所「飯田アカデミア 2023 第97 講座」	大場修

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	岡井 有佳

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
近代建築法制100年 市街地建築物法適用六大都市の都市形成と法制度	共著	2022年10月	技報堂出版	日本建築学会編	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
立地適正化計画の策定による市街化区域外の土地利用規制への影響に関する研究	共著	2022年1月	都市住宅学会、都市住宅学116号	倉田紘平・岡井有佳・酒本恭聖	137-144
フランスにおける都市政策実現に向けての合意形成に関する研究	共著	2022年6月	実践政策学8(1)	ヴァンソン藤井由実・金山洋一・岡井有佳・村尾俊道・本多豊・中川大	103-118
パリ市の道路活用制度に関する研究	共著	2022年7月	日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集20(0)	辻寛太・岡井有佳	5-8
歴史的な町なみの特徴とその保全に関する研究	共著	2022年7月	日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集20(0)	野口美咲・山崎正史・岡井有佳	125-128
津山市重要伝統的建造物群保存地区における水害リスクに関する研究	共著	2022年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	喜多孝輔・酒井智弘・岡井有佳・馬場美智子	191-196
道路活用促進のための制度デザインに関する研究～パリ市制度とほこみち制度を比較して	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	辻寛太・岡井有佳	763-764
新たな住環境問題に対する建築協定の効果に関する研究～民泊問題を事例として	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	福井誠・岡井有佳	397-398
公共施設マネジメントにおける個別施設再編のための住民参加に関する研究	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	酒井智弘・岡井有佳	1069-1070
歩道空間に対する歩行者の評価及びニーズの実態調査～うめきた・芝田・阪急三番街地区の歩道を対象として	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	桑野稜市・岡井有佳	821-822
人口密度を考慮した居住誘導区域の水害リスク評価	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	喜多孝輔・馬場美智子・岡井有佳	601-602
都市公園における公募設置管理制度(Park-PFI)の活用実態に関する研究	共著	2022年7月	日本建築学会2022年度日本建築学会大会学術講演梗概集	鎌田浩輔・岡井有佳	1075-1076

コンパクトシティ形成に向けた逆線引き 実施のプロセスと課題に関する研究	共著	2022年10月	日本都市計画学会日本 都市計画学会都市計画 論文集 57 (3)	吉田隼斗・岡井有佳	1317- 1324
--	----	----------	--	-----------	---------------

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
災害の時間的フェーズを考慮した歴史都市防災に関する研究内容の傾向分析	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 Vol.16	小川圭一, 宇佐美智子	143-150

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
災害の時間的フェーズを考慮した歴史都市防災に関する研究内容の傾向分析	共著	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 宇佐美智子

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
第9章災害・安全とサステナビリティ、「SDGs時代におけるサステナビリティ学」	単著	2022年3月	法律文化社	周瑋生編・鐘ヶ江秀彦著	第9章 / 15章 (191頁)

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 Vol.16	小川圭一編集委員会委員長・留野僚也, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦	121-128
時空間的要因を考慮したNPO法人の事業目的の分析に基づく文化遺産防災に関する考察: 都市縮小期を迎えた京都市を事例として	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 Vol.16	小川圭一編集委員会委員長・大橋弘明, 留野僚也, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦	135-142

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析	共同	2022年7月	第16回歴史都市シンポジウム	留野僚也, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦
時空間的要因を考慮したNPO法人の事業目的の分析に基づく文化遺産防災に関する考察: 都市縮小期を迎えた京都市を事例として	共同	2022年7月	第16回歴史都市シンポジウム	大橋弘明, 留野僚也, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦
地域住民の役割行動の明確化を目的としたシナリオ提示型避難所運営ゲーミングの開発と試行に関する研究	共同	2022年11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会秋季全国大会	留野僚也, 加減渉, 鐘ヶ江秀彦

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
27th Pacific Conference of the RSAI in 2022 Kyoto 国際地域学会環太平洋地域学機構国際大会2022を主催	共同	オンライン	2022/8/1-8/4
国際シミュレーション&ゲーミング学会・第1回国際S&G設計開発競技会(ISGC2022)の審判評議委員長	共同	チュラロンコン大学(最終競技会場)・世界各地区	2022/7/1-9/3

インドネシア政府による地方公務員派遣（4名）による地域の環境防災課題解決のための国際共同研究の主催	共同	歴史都市防災研究所	2022/10/16-11/12
インドネシア政府国家開発計画省国際共同研修（27名）の主催 「レジリエントで持続可能な発展のための次期長期国家開発計画策定」	共同	歴史都市防災研究所・大阪いばらきキャンパス・東京キャンパス	2022/11/30-12/14

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
27th Pacific Conference of the RSAI in 2022 Kyoto	単独	2022年 8月1日	国際地域学会環太平洋地域学機構・2022年国際大会の開会講演として主催者を代表してテーマ解題の講演	鐘ヶ江秀彦
Why do simulations and games drive the digital transformation of cities and regions?	単独	2022年 9月5日	タイ王国国立高等教育科学研究イノベーション政策会議（NXPO）策定の政策・エリアベース開発プログラムマネジメントユニット（PMU-A）戦略計画「スマートテクノロジーとイノベーションの導入による新しい管理システムのモデル」事業の全体会議にてスマートシティについて講演	鐘ヶ江秀彦
Society5.0の時代における人間と都市の新しい関係づくり	単独	2022年 11月5日	日本シミュレーション&ゲーミング学会秋季全国大会シンポジウム「ユネスコデザイン創造都市旭川におけるシミュレーション&ゲーミングの貢献」基調講演とパネリスト	鐘ヶ江秀彦
ゲーミング・シミュレーションの潮流	単独	2022年 11月28日	慶應SDM 社会&ビジネスゲームシンポジウムの基調講演とパネリスト	鐘ヶ江秀彦

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
日本地域学会（国際地域学会日本支部）	2022年度学会賞・大石泰彦賞（論文賞）	The attractiveness of a post - mining city as a tourist destination from the perspective of visitors: a study of Sawahlunto old coal mining town in Indonesia	2022年10月

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	川崎 佑磨

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Improvement in Long-term Strength and Flow of Mortar Containing Reed Ash and Powder		2022年4月	Japan Concrete Institute Journal of Advanced Concrete Technology 20 (4)	Masahiro Hyodo, Shinya Shibahara, Hidehiko Ogata, Daiki Atarashi, Yuma Kawasaki, Takahisa Okamoto	267-276
鉄鋼スラグ粗骨材を使用したコンクリートの圧縮破壊過程のAEモニタリング		2022年6月	材料 71 (6)	山田悠二, 川崎佑磨, 辻西勇輝, 戸松功佑, 堀朝登, 榎原弘貴	540-547
補修に用いるモルタルの物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響		2022年7月	コンクリート工学年次論文集 44 (1)	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨, 田中章夫	694-699
高強度コンクリートを対象とした空練りがモルタルフローに与える影響		2022年7月	コンクリート工学年次論文集 44 (1)	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	850-855
空気圧入による3年間暴露したポーラスコンクリートの空隙率変化の評価		2022年7月	コンクリート工学年次論文集 44 (1)	野々村大心, 川崎佑磨, 中島康成, 山田茂	1168-1173
地盤内に設置したポーラスコンクリートの水平透水性能に関する実験的考察		2022年7月	コンクリート工学年次論文集 44 (1)	坂野大世, 川崎佑磨	1048-1053
Failure mechanisms of corroded/non-corroded RC cylinder under axial compressive loading evaluated by AE technique		2022年9月	Frontiers Media SAFrontiers in Built Environment 8	Mouhamadou Mountakhah Seye, Yuma Kawasaki	
空練りがモルタルフローに与える影響		2022年10月	コンクリートテクノ, 41 (10)	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	36-42
Phenomenological process of rebar corrosion in reinforced concrete evaluated by acoustic emission and electrochemical noise		2022年10月	Elsevier BV Construction and Building Materials 352	Yuma Kawasaki, Shinya Fukui, Tomoko Fukuyama	128829-128829

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	河角 直美

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
おいしい京都学—料理屋文化の歴史地理	共著	2022年11月	ミネルヴァ書房	加藤政洋・河角直美	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
〈孤島—都市〉としての南大東島	共著	2022年3月	公益財団法人JFE21世紀財団『2021年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書』	加藤政洋・河角直美	127-152頁
伊佐浜・インヌミ・照屋—基地都市コザのミッシング・リンクを求めて—	共著	2022年9月	立命館文學、679号	加藤政洋・河角直美・前田一馬	139-162頁
2021年学界展望：自然環境・災害	単著	2022年10月	人文地理、74巻3号	河角直美	325-330頁
南大東島の企業城下町「在所」の景観復原	共著	2023年3月予定	環太平洋文明研究、7号	河角直美・加藤政洋	未定

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
『ひめゆりの塔』著者・石野径一郎旧蔵写真の全貌	共同	2022年8月	『写真資料にみる1950年代沖縄の社会と景観』の報告会（於：沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート）	加藤政洋・河角直美・前田一馬
戦後沖縄における「スクラップ・ブーム」とその影響—人的被害のひろがりに着目して—	共同	2022年11月	2022年人文地理学会大会（於：佛敎大学）	前田一馬・河角直美・加藤政洋・常本亮太

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	神田 孝治

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
よくわかる観光コミュニケーション論	分担執筆	2022年3月	ミネルヴァ書房	須藤廣・遠藤英樹・高岡文章・松本健太郎編(担当: 神田孝治「空間」, 「『Pokémon GO』」)	32-33, 190-191
フィールドワークの現代思想—パンデミック以後のフィールドワーカーのために	分担執筆	2022年4月	ナカニシヤ出版	遠藤英樹編(担当: 神田孝治「あわいから問うフィールド—COVID-19を契機としたフィールドワーク再考」)	77-90

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
AIと私—境界から問うAI	単独	2022年2月	シンポジウム「Dxの光と影—デジタル革命の人文・社会科学」	神田孝治

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	助教	北本 英里子

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
建築情報学の授業の理解と意欲に関するアンケート調査の報告	共同	2022.9	日本建築学会, 日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集, 建築情報システム	北本英里子, 山田悟史
生理的反応を取り入れた没入型仮想環境におけるデザイン生成システムの提案－Breathing Design Systemの開発と活用事例－	共同	2022.12	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, インタラクティブ発表	北本英里子, 山田悟史
建築・都市 VR・MRの応用と展望 2022 (1)	共同	2022.12	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, 報告	福田知弘, 安藤幸央, 上田淳, 大石智久, 大西康伸, 北本英里子, 倉田成人, 酒谷粹将, 笹田岳, 灘英樹, 松永直美, 松山洋人, 満田衛資
建築・都市 VR・MRの応用と展望 2022 (2)	共同	2022.12	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, 報告	福田知弘, 安藤幸央, 上田淳, 大石智久, 大西康伸, 北本英里子, 倉田成人, 酒谷粹将, 笹田岳, 灘英樹, 松永直美, 松山洋人, 満田衛資

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	金 度源

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
歴史地区における豪雨災害に備えた避難所機能のニーズ評価：マーケティング手法を用いた整備項目の評価と提案	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	◎大窪健之, 福永靖史, 金度源	113-120
火災情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの機能向上と評価に関する研究—豊岡市出石伝建地区でのオンライン防災訓練を通して—	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	◎南本一樹, 大窪健之, 金度源	169-176
まちなかコモンズ整備事業を活用した密集市街地の防災整備に関する研究	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	◎廣山達哉, 大窪健之, 金度源	183-190
歴史的な地区の防災活動状況や住民の防災意識に関する研究—奈良県五條市五條新町重伝建地区を対象として—	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	◎金度源, 倉本紗季, 大窪健之	211-218
ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性：ゴルカ地震を経験したパタン地区での事例を対象として	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集	◎里中涼華, 大窪健之, サキャラタ, 金度源	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
豊岡市出石重要伝統的建造物群保存地区防災計画	共同		2020年4月～ 2022年8月

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
After corona時代のHeritage tourismに対する一つの考え	単独	2022年4月	日本ICOMOS EPウェビナー	金度源
Disaster Risk Management Lecture & Exercise	単独	2022年5月		Dowon Kim
暮らしに防災○減災◎を！	単独	2022年6月		金度源
歴史的地域におけるボトムアップ型防災ワークショップ「災害図上訓練(DIG)」を企画し、実践導入する—災害図上訓練ファシリテーション講習会—	単独	2022年7月		金度源
歴史的水路を保存・活用した京都盆地復水プロジェクト—環境防災水利の整備実現を通じた山紫水明のまちづくり—	共同	2022年9月	京都府立京都学・歴彩館府民協働連続講座第99回京の水文化を語る座談会	

A Study of Disaster Risk Management for Cultural Heritage	单独	2022年10月		Dowon Kim
Sustainable and Creative Adaptation of the Traditional Knowledge on the Fire Mitigation in Historic Sites: Case Study from Kyoto	单独	2022年11月	CAPACITY BUILDING IN RISK MANAGEMENT AND PROTECTION SYSTEMS IN AFRICA	Dowon Kim

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
総合科学技術研究機構	助教	金 侖美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
セメント系材料の荷重に伴う発電現象に対する遷移帯の影響	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝	
電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	
導電性の異なるセメントペースト複合体における繰返し荷重に対する発電応答	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝	
高強度コンクリートを対象とした空練りがモルタルフローに与える影響	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	850-855
導電性セメント硬化体の一軸繰返し荷重によるひずみ変化と電気的応答特性	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	金侖美, 福山智子	1306-1311
補修に用いるモルタルの物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨, 田中章夫	694-699

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
断面修復した鉄筋コンクリート梁における曲げ応力と弾性パラメータの関係	共同	2022年9月	日本建築学会大会	神代康輔・金侖美・吉富信太・福山智子
電気化学ノイズによるコンクリート中の各種鋼材の腐食形態把握に関する基礎的検討 その1: 時間領域の解析	共同	2022年9月	日本建築学会大会	川崎佑磨・金侖美・福山智子
電気化学ノイズによるコンクリート中の各種鋼材の腐食形態把握に関する基礎的検討 - その2: 時間-周波数領域の解析	共同	2022年9月	日本建築学会大会	福山智子・金侖美・川崎佑磨
炭素繊維含有量および含水状態がセメントペーストの一軸繰返し試験による圧電挙動に及ぼす影響	共同	2022年9月	日本建築学会大会	金侖美・福山智子

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
大韓建築学会	優秀発表論文賞	リング試験体を用いたコンクリートと補修材の変形適合性評価	2022.10
日本コンクリート工学会	年次論文奨励賞	導電性セメント硬化体の一軸繰返し荷重によるひずみ変化と電気的応答特性	2022.7
日本コンクリート工学会 近畿支部	近畿支部奨励賞	セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討 日本コンクリート工学会近畿支部	2022.5

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	講師	木村 智

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
ジュゼッペ・パガーノにおけるファシズム建築	共著	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集	木村智、宮内棟伍	477-480
別府市鉄輪の空き家活用におけるwallstatの有効性に関する研究	共著	2022年7月	『歴史都市防災論文集』第16号	木村智、坂本昇陽、平尾和洋	25-32
ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおけるA.リベラとP.L.ネルヴィの検討	単著	2022年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集（北海道）	木村智	745-746
イタリア・ファシズムにおける古代ローマの構法的継承	単著	2022年9月	日本建築学会大会（北海道）建築計画部門PD資料 各部構法小委員会・構法史WG	木村智	38-41

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ジュゼッペ・パガーノにおけるファシズム建築	共著	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	木村智、宮内棟伍
別府市鉄輪の空き家活用におけるwallstatの有効性に関する研究	共著	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	木村智、坂本昇陽、平尾和洋
ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおけるA.リベラとP.L.ネルヴィの検討	単著	2022年9月	日本建築学会大会（北海道）	木村智

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小林 泰三

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
土質試験－基本と手引き－(第三回改訂版)	共著	2022年	地盤工学会	「土質試験－基本と手引き－」改訂編集WG	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
3次元レーザ測量を利用した城郭石垣の安定性評価	共著	2022	地盤工学会誌, Vol.70, No. 8, Ser. No. 775	小林泰三, 安井伸顕, 家村享明, 西村正三	17-21
地盤データベースの利活用におけるANNによる三軸圧縮試験の内部摩擦角推定の試み	共著	2022/11	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	北岡貴文, 山本雄平, 水谷未来, 小林泰三	17-22
機械学習を用いたアースオーガ掘削音による地盤材料の粒度推定に関する基礎的研究	共著	2022/11	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	遠藤慧人, 小林泰三	1024-1028
土粒子画像による地盤材料の工学的分類の試み	共著	2022/11	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	阿部友貴, 小林泰三	1037-1041
地盤防災・環境保全に資する地盤改良技術の現状と展望－ICTを活用した地盤改良工と法面工の生産性向上－	共著	2022	材料, 日本材料学会, 71巻, 11号	小林泰三, 椎葉祐士, 宇梶伸, 尾形太, 藤田哲	936-942
A basic study on estimation of particle size distribution based on machine learning using sounds during screw auger excavation	共著	2022/11	Proc. of 12th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment	K. Endo, T. Kobayashi and R. Fukagawa	
Feasibility study on soil classification from soil images using deep learning	共著	2022/11	Proc. of 12th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment	T. Abe and T. Kobayashi	
地盤工学分野におけるICT導入の現状	共著	2022/11	Kansai Geo-Symposium 2022 論文集	小林泰三, 鍋島康之, 北岡貴文, 小田和広, 交久瀬磨衣子	6p

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
斜面崩壊のメカニズムと土砂災害の軽減に向けた課題と展望	単独	2022年9月	次世代センサ協議会、次世代センサ総合シンポジウム2022	小林泰三

AIと地盤工学～デジタル地盤工学の発展に向けて	単独	2022年7月	NCBドレーン協会、技術講演会	小林泰三
地盤災害から命を守る～土砂災害・液状化委のメカニズムと対策	単独	2022年7月	立命館大学オンラインセミナー	小林泰三
AIと土質試験～デジタル土質試験の実現に向けて～	単独	2022年2月	福井地質調査業協会、令和3年度技術講演会、地質調査におけるDX	小林泰三

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	桜井 政成

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
人口減少社会の地域経営政策	共著	2022年7月	晃洋書房	川島典子	55-71(第4章地域経営におけるNPOおよび社会的企業の役割)

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
日本NPO学会	優秀賞	『福祉NPO・社会的企業の経済社会学：商業主義化の実証的検討』	2022年6月

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害	共著	2022年1月	砂防学会誌 74 (5)	今泉文寿・小山内信智・加藤真雄・小池優・小杉賢一朗・坂井佑介・坂口宏・里深好文・高山翔揮・田中隆文・西陽太郎	34-42
SPATIAL DISTRIBUTION PROPERTIES AND THE MONITORING OF RAINFALL EVENTS THAT CAUSE SEDIMENT INFLOW DISASTERS	共著	2022年6月	Journal of JSCE 10	Taiki Mori, Ryou Sasaki, Masataka Fujii, Tomoyasu Sugiyama and Yoshifumi Satofuka	415-429
土砂・洪水氾濫対策の施設規模における計画規模の設定方法に関する考察	共著	2022年6月	河川技術論文集 28	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	355-360
無流水溪流対策における透過型施設の構造に関する基礎的な実験	共著	2022年8月	第11回土砂災害に関するシンポジウム論文集	原田紹臣・里深好文・水山高久	113-118
土石流の規模推定に向けた山地溪流の集水領域に関する研究	共著	2022年10月	自然災害科学 41 (特別)	中谷加奈・里深好文	141-150
画像解析を用いた土砂濃度測定手法の基礎的検討	共著	2022年11月	砂防学会誌 75 (4)	佐藤光平・内田太郎・権田豊・里深好文	3-13

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	高橋 学

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
中里遺跡の地形環境	単著	2022年12月	吉川弘文館	石川日出志ほか	137-139

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
不適切な土地利用が拡大させる災害	単著	2022年3月	雄山閣	環太平洋文明研究センター	38-53

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
書評:『気候変動から読みなおす日本史 第3巻 先史・古代の気候と社会変化』	単独	古代文化 73-4 132-134	

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	寺床 幸雄

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
諫早（長崎県）	単著	2022年6月	『読みたくなる「地図」 地方都市編①』海青社	平岡昭利編	106-107
水俣（熊本県）	単著	2022年6月	『読みたくなる「地図」 地方都市編①』海青社	平岡昭利編	116-117
農村における社会的結びつき	単著	2023年1月	『地理学事典』丸善出版	日本地理学会編	322-323

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	准教授	豊田 祐輔

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
グループホームにおける水害対策の現状と課題に関する研究	共著	2022年3月	立命館大学地域情報研究所地域情報研究－立命館大学地域情報研究所紀要－(立命館大学地域情報研究所)(11)	張軒、豊田祐輔	71-92
訪日中国人観光客の避難行動意思決定に関する研究	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	楊曼尊、豊田祐輔	105-112
2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	121-128
時空間的要因に着目したNPO法人事業目的的分析に基づく文化遺産防災に関する考察－都市縮小期を迎えた京都市を事例として－	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16	大橋弘明、留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	135-142
Factors Contributing to Community-Based Disaster Risk Reduction for Foreign Residents in Japan	共著	2022年11月	Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University (4)	Phuakunian Kanjana, Toyoda Yusuke	158-174

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Gaming Simulation: Interactive Tool for Environmental Management	単独	2022年5月	The 11th International Conference on Environmental Engineering, Science and Management	Toyoda Yusuke
Gaming Simulation for Collecting Local Knowledge for Flood Resilience	共同	2022年7月	ISAGA (International Simulation And Gaming Association) 2022: 53rd Anniversary Conference	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
Gaming Simulation as a Communication and Learning Tool for Transformation	共同	2022年10月	17th Asia Pacific Sociological Association 2022 Conference	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
地域防災知の収集に関するゲーミング・シミュレーションの優位性:フォーカス・グループ・ディスカッションとの比較を通じて	共同	2022年11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会2022年度秋期全国大会	豊田祐輔*, Tanwattana Puntita

Gaming Simulation for Learning Flood Disaster Local Knowledge	共同	2022年11月	Society for Risk Analysis-Asia Conference 2022	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
Transdisciplinary Research: Impact Oriented Research Collaboration	単独	2022年11月	2022 Global Research Council Asia-Pacific Regional Meeting	Toyoda Yusuke
Collecting Local Practice on Flood Management by Gaming Simulation and Focus Group Discussion	共同	2022年11月	17th APRU (Association of Pacific Rim Universities) Multi-Hazards Symposium 2022	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
Grasping Flood Risk Management Knowledge by Gaming Simulation	共同	2023年2月	NERPS (Network for Education and Research on Peace and Sustainability) Conference 2023	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Gaming Simulation on Flood Risk Management	共同	2022年7月	International Simulation Gaming Competition 2022 (ISGC2022)	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
Gaming Simulation: Tools for Disaster Risk Reduction' (20220919) & 'Lessons Leant and Measures against Earthquakes and Tsunamis in Japan' (20221031)	共同	2022年9月	Climate and Disaster Resilience (course provided for undergraduate students at Chulalongkorn University)	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
Gaming Simulation as Learning and Communication Tools for Disaster Risk Management	共同	2022年10月	Disaster Management (Course of Risk and Disaster Management Program [master's program], Chulalongkorn University)	Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntita
Gaming Simulation as Disaster Education Tools	共同	2022年10月	"Our Environment (course provided for undergraduate students at Chulalongkorn University)"	Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntita
Gaming Simulation for Community-Based Disaster Risk Management	共同	2022年11月	Weather, Climate Change and Disaster Management (course provided for undergraduate students of the Faculty of Science and Technology at Thammasat University)	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
Gaming Simulation for Communication and Learning Tools in Community-Based Disaster Risk Management	共同	2022年11月	Seminar in Urban Strategies (course provided for graduate students of the Faculty of Architecture at Chulalongkorn University)	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	助教	夏目 宗幸

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
千町野の新田村落名における「前」の意味	共著	2022年3月	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館武蔵野ふるさと歴史館だより9	北西諒介・夏目宗幸	2-4
旧高旧領取調帳と農業集落境界データによる近世村領域推定	共著	2022年10月	地理情報システム学会講演論文集(CD-ROM) 31	本田謙一・夏目宗幸・根元裕樹	pp. P-20
『地理総合』の重要語句に基づいたGIS教材の開発	共著	2022年10月	地理情報システム学会講演論文集(CD-ROM) 31	根元裕樹・夏目宗幸	pp. P-28
市区町村スケールにおける別荘地の立地特性	共著	2022年10月	地理情報システム学会講演論文集(CD-ROM) 31	前田一馬・夏目宗幸	pp. P-02
奉納砲弾から読み解く武蔵野の変化と田付景利の役割	共著	2023年1月予定	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館武蔵野ふるさと歴史館だより10	夏目宗幸・安岡達仁	2-4 (予定)
江戸近郊における将軍家鷹場の領域形成	単著	2023年2月予定	吉川弘文館、日本歴史(2023年1月号(897))	夏目宗幸	19-35 (予定)

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
千町野開発における幕臣の系譜的検討	単独	2022年1月	企画例会「江戸西郊地域の開発と武家」	夏目宗幸
江戸近郊における将軍家鷹場の空間構造—GISデータ構築を手がかりとして—	単独	2022年11月	第160回研究部会「GISの進展と歴史学」	夏目宗幸

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
地理情報システム学会	ポスターセッション賞	旧高旧領取調帳と農業集落境界データによる近世村領域推定	2022年10月

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	狭間 惠三子

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
『増補改訂版 日本ボランティア・NPO・市民活動年表』	共著	2022年	明石書店	石田易司、岡本仁宏他	pp388-444

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「これからの人の移動を考える」	単	2022年12月	関西のインフラ強化を進める会	狭間惠三子

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	花岡 和聖

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
空間ビッグデータを用いた都市内人口分布の時空間的把握—「コロナ禍」の京都市を事例に一	共同	2022年11月	2022年人文地理学会	花岡和聖・矢野桂司

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Mobile phone big data and the COVID-19 pandemic	単独	2022年12月	2nd Workshop of Asian Young Geographers	K. Hanaoka

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	平尾 和洋

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
構造デザインマップ関西	共著	2022年5月	総合資格	構造デザインマップ編集委員会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
別府市鉄輪の空き家活用におけるwallstatの有効性に関する研究	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 vol.16	木村智, 坂本昇陽, 平尾和洋	25-32
出石伝統的建造物保存地区における建築物の延焼脆弱性の定量化と二方向避難・放水範囲拡大のための対策提案	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 vol.16	平尾和洋, 田邊勇樹, 大場修	73-80
出石伝統的建造物群保存地区における町家の平面・意匠分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 vol.16	大場修, 平尾和洋, 中村魁	81-88
歴史的風土特別保存地区における民家主屋の外観意匠類型化とその屋敷構えとの関係 明日香村の奥山・飛鳥・川原・野口・岡・鳥庄の六大字を事例として	共著	2022年7月	日本建築学会計画系論文集 第87巻(797号)	山本直彦, 平尾和洋, 吉田哲也, 室崎千重	1271-1281

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
コラーージュを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系 pp.141-144	川上樹, 平尾和洋
宇治茶生産集落和東町湯船岩倉地区における集落構成および伝統的建造物・環境物件を含む景観の分析	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系, pp.169-172	上田圭太郎, 三輪晋也, 平尾和洋, 大場修
宇治茶生産集落和東町湯船地区におけるデータ分析と編年・民家変遷に関する考察	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系, pp.173-176	嶋津祐哉, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修
全国の漁家主屋の平面類型と兵庫県津居山集落における平面に関わる考察	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系, pp.177-180	大場修, 田崎幹大, 平尾和洋
漁村の集落形態の類型とその発展図式に関する考察－全国的視点と北近畿地方における事例調査から－	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系, pp.181-184	平尾和洋, 川田泰歩, 大場修
京都市の路地空間の選定・景観評価・類型化とランキング案の提示	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系, pp.241-244	西岡里美, 古川祥也, 平尾和洋

出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系、pp.261-264	藤木大真, 中村魁, 平尾和洋, 大場修
出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証および消火活動と二方向避難の提案	共同	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第62号計画系、pp.269-272	田邊勇樹, 平尾和洋, 大場修
兵庫県津居山集落における漁家平面に関わる類型とその考察	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.33-34	本田暁彦, 田崎幹大, 大場修, 平尾和洋
出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証及び消火活動と二方向避難の提案	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.675-676	饗庭優樹, 田邊勇樹, 平尾和洋, 大場修
出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準への提案	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.677-678	山田迪与, 中村魁, 平尾和洋, 大場修
京都市の路地空間の選定・景観評価とランキング案の提示	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.859-860	平尾和洋, 古川祥也

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	特命教授	深川 良一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
修正 I-D 法による斜面崩壊危険度予測における飽和帯形成時刻の推定手法の提案	共著	2022年7月	土木学会論文集 C（地圏工学）78（3）	檀上徹，酒匂一成，石澤友浩，藤本将光，伊藤真一，深川良一	165-179
修正 I-D 法を用いた斜面崩壊危険度予測の他地域への適用可能性の検証	共著	2022年11月	斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム論文集（北九州）	檀上徹，石澤友浩，酒匂一成，藤本将光，伊藤真一，深川良一	9-16
世界遺産清水寺における文化遺産防災の取り組みと斜面災害復旧事例	共著	2022年11月	土木技術「特集：遺産と土木」、77巻、11号	宇次原雅之，深川良一	8-14
現地モニタリングを用いた斜面崩壊監視システム	共著	2022年4月	EICA：journal of EICA：環境システム計測制御学会誌／学会誌「EICA」編集委員会編、特集 災害時における最新のモニタリングおよび予測技術（後編）	藤本将光，檀上徹，平岡仲隆，酒匂一成，深川良一	45-49
京都市東山地域における地下水流動と斜面崩壊の特徴	共著	2022年9月	地盤工学会誌，Vol.70, No.9, No.776	藤本将光，檀上徹，平岡仲隆，酒匂一成，深川良一	17-22

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
和歌山県那智勝浦町における土石流災害およびその復興状況	単独	2022年1月	2022年1月14日 防災フロンティア研究センター 防災情報シンポジウム	深川良一
2019年梅雨期集中豪雨による鹿児島の世界遺産・寺山炭窯跡被災からの復興状況	単独	2022年5月	立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会	深川良一
土砂災害	単独	2022年9月	2022年度びわ湖東北部地域連携協議会・防災士養成講座	深川良一
土砂災害	単独	2022年11月	聖泉大学・防災論講義	深川良一
土砂災害と対策	単独	2022年12月	令和4年度 滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養成講座	深川良一
地球温暖化と土砂災害	単独	2023年2月	近畿ブロック砂防ボランティア協会 合同講習会	深川良一

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電気電子工学科	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Improved Facial Keypoint Regression Using Attention Modules	共著	2022年3月	SpringerProceedings on IW-FCV 2022	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu	182-196

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Improved Facial Keypoint Regression Using Attention Modules	共同	2022年3月	International Workshop on Frontiers of Computer Vision 2022	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
二次元コード、生成装置、読取装置、及び、コンピュータプログラム	本学以外	その他	特願 2021-127832			日本

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	福山 智子

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
溶融亜鉛めっき鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造建築物の設計・施工指針・同解説	分担執筆	2022年3月	日本建築学会	日本建築学会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
セメント系材料の荷重に伴う発電現象に対する遷移帯の影響	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝	
電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	
導電性の異なるセメントペースト複合体における繰返し荷重に対する発電応答	共著	2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝	
Phenomenological process of rebar corrosion in reinforced concrete evaluated by acoustic emission and electrochemical noise	共著	2022年10月	Construction and Building Materials 352	Yuma Kawasaki, Shinya Fukui, Tomoko Fukuyama	
高強度コンクリートを対象とした空練りがモルタルフローに与える影響	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	
導電性セメント硬化体の一軸繰返し荷重によるひずみ変化と電氣的応答特性	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	金侖美, 福山智子	
補修に用いるモルタルの物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響	共著	2022年7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨, 田中章夫	
Current State of Knowledge on Bare High-Nickel Type Weathering Steel Towards the Application as Concrete Reinforcement	共著	2022年4月	Journal of Advanced Concrete Technology Vol. 20	Emel Ken D. Benito, Atsushi Ueno and Tomoko Fukuyama	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
断面修復した鉄筋コンクリート梁における曲げ応力と弾性パラメータの関係	共同	2022年9月	日本建築学会年次大会	神代康輔, 金侖美, 吉富信太, 福山智子
炭素繊維含有量および含水状態がセメントペーストの一軸繰返し試験による圧電挙動に及ぼす影響	共同	2022年9月	日本建築学会年次大会	金侖美, 福山智子

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
大韓建築学会	優秀発表論文賞	リング試験体を用いたコンクリートと補修材の変形適合性評価	2022.10
日本コンクリート工学会	年次論文奨励賞	導電性セメント硬化体の一軸繰返載荷によるひずみ変化と電気的応答特性	2022.7
日本コンクリート工学会近畿支部	近畿支部奨励賞	セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討	2022年

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都市東山地域における地下水流動と斜面崩壊の特徴	共著	2022年9月	地盤工学会誌, Vol.70	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	pp.17-22
現地モニタリングを用いた斜面崩壊監視システム	共著	2022年3月	環境システム計測制御学会誌, 26巻4号	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	pp.45-49
Effects of geological differences on rainfall-runoff characteristics based on field measurements	共著	2022年11月	Hydrological Research Letters, Volume 16(4)	Jun Inaoka, Ken'ichirou Kosugi, Naoya Masaoka, Tetsushi Itokazu, Kimihito Nakamura, Masamitsu Fujimoto	pp.80-86
土砂・洪水氾濫対策の施設規模における計画規模の設定方法に関する考察	共著	2022年6月	河川技術論文集, 第28巻	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	pp.355-360
土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討	共著	2022年11月	Kansai Geo-Symposium 論文集, Vol. 10	林祐妃・藤本将光・山田由生・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔	pp.153-157

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
A Bayesian Model of Shallow Landslides Established by Extracting the Time-Series Features of Rainfall Event	共同	2022年3月	3rd International Symposium on Risk Assessment and Sustainable Stability Design of Slopes	Isao Onishi and Masamitsu Fujimoto
Underground Water Level Change and Deformation Behavior on Slope Failure Initiation due to Rainfall	共同	2022年3月	3rd International Symposium on Risk Assessment and Sustainable Stability Design of Slopes	Xin Qin, Masamitsu Fujimoto and Yoshifumi Satofuka
降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	覃馨, 藤本将光, 里深好文
土層の透水性が斜面表層崩壊の崩壊深に与える影響	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	水野仁, 藤本将光, 川島直人, 西村翔太, 里深好文
道路斜面の土壌水分と土壌雨量指数の関係	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	林祐妃, 藤本将光, 山田由生, 宮崎祐輔, 小山倫史, 中井卓巳, 藤原康正, 岸田潔
山地斜面における基岩面地形と透水性分布の関係	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	柳井鴻太郎, 正岡直也, 小杉賢一朗, 藤本将光
改良型 HCYC モデルを用いた山地源流域における降雨流出特性の解明	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	稲岡諄, 小杉賢一朗, 正岡直也, 糸数哲, 中村公人, 藤本将光

盛土対策工の排水性機構に関する実験的検討	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	西村翔太, 藤本将光, 原田紀臣, 長谷川翔平, 川島直人, 坂野大世, 川崎佑磨, 里深好文
景観に配慮した透過型砂防堰堤の土砂捕捉機能に関する研究	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	矢野隆宏, 里深好文, 藤本将光
網状鉄筋挿入工の水平耐力に関する実験的検討	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	川島直人, 藤本将光, 遠藤優斗, 原田紀臣, 小西成治, 疋田信晴, 吉永憲次
コンクリートブロック堰堤の透水性とその機能に関する実験的検討	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	藤本将光, 奥村勇太, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 里深好文
盛土法面の土壌水分計測に基づくカルマンフィルタによるタンクモデルのパラメータ同定	共同	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤本将光, 山口弘誠, 岸田潔
線状降水帯の影響を受けた土砂・洪水氾濫時の土砂生産に関する一考察	共同	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	原田紹臣・木下悦男・藤本将光・里深好文・水山高久
DX推進に向けた貯水池周辺の地すべり安定解析(三次元)に関する一考察	共同	2022年9月	第61回日本地すべり学会研究発表会	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久・松井保
Parameter identification of tank model for embankment slope using Kalman Filter	共同	2022年9月	11th International Symposium on Field Monitoring in Geomechanics	Yuusuke MIYAZAKI, Tensei SAKATANI, Tomofumi KOYAMA, Masamitsu FUJIMOTO, Kiyoshi KISHIDA

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
身近になった土砂災害	単独	2022年12月	京都大学 第28回市民防災講座「豪雨災害に備える」	藤本将光

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	本間 睦朗

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
「ふわとろ」から読み解く照明の着色	共著	2022年3月	照明知識	本間睦朗	p.28

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
特定電気事業による大規模停電への備えから考察する京都市のBCPに関する研究	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集16	福本真史・本間睦朗	p.97-104

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
自動調光による省エネ効果の項目別評価に関する研究	共著	2022年9月	照明学会全国大会	高部航南・本間睦朗
ABWを見据えたオフィス光環境に関する考察	共著	2022年9月	照明学会全国大会	大田勇樹・本間睦朗
SECIモデルによるABW導入オフィスの「場」の分析・考察	共著	2022年9月	日本建築学会大会 学術講演会	山本理央・寶珍宏元・本間睦朗
自動角度制御ブラインドを有する窓の光環境シミュレーションに関する研究－IESファイル形式による配光データ作成の検討－	共著	2022年12月	2022年 電気設備学会学生研究発表会	高部航南・本間睦朗

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	助教	前田 一馬

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
よくわかる観光コミュニケーション論	分担執筆	2022年3月	ミネルヴァ書房	須藤廣, 遠藤英樹, 高岡文章, 松本健太郎編	178-179

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
伊佐浜・インヌミ・照屋 一基地都市コザのミッシング・リンクを求めて―	共著	2022年9月	立命館文學 (679)	加藤政洋, 河角直美, 前田一馬	139-162
市区町村スケールにおける別荘地の立地特性	共著	2022年10月	第31回地理情報システム学会講演論文集(CD-ROM)	前田一馬, 夏目宗幸	P-2(1-7)
「鴨川古写真 GIS データベース」の構築に向けた現状と課題	共著	2022年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム2022論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)	飯塚公藤, 谷端 郷, 大邑潤三, 佐藤弘隆, 島本多敬, 前田一馬, 鈴木康久	1-6
明治期の軽井沢に対する避暑客の環境認識	単著	2023年1月	立命館大学人文科学研究紀要(134)	前田一馬	215-245

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
近代日本における「高原」の表象―雑誌『山』を中心とした予察的検討―	単独	2022年5月	グローバル化とアジアの地域研究会(オンライン)	前田一馬
市区町村スケールにおける別荘地の立地特性	共同	2022年10月	第31回地理情報システム学会研究発表大会(ポスターセッション・オンライン)	前田一馬, 夏目宗幸
戦後沖縄における「スクラップ・ブーム」とその影響 ―人的被害のひろがりに着目して―	共同	2022年11月	2022年人文地理学会大会	前田一馬, 河角直美, 加藤政洋, 常本亮太

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
百年前の避暑客はどこへ遊びに出かけていたのか?	単著	『軽井沢ヴィネット』(130), 軽井沢新聞社, 108-109	2022年4月
昭和戦前期における旧軽井沢銀座の夏季出張店	単著	『軽井沢ヴィネット』(131), 軽井沢新聞社, 110-111	2022年7月

『写真資料にみる 1950 年代沖縄の社会と景観』	共著	河角直美研究室・加藤政洋研究室・ 立命館大学文学部	2022 年 8 月
---------------------------	----	------------------------------	------------

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
標高地図から読むキャンプ・コザの空間 と景観／石野径一郎旧蔵写真にみる 1950 年代沖縄の社会と景観	共同	2022 年 8 月	『ひめゆりの塔』著者・石野径 一郎旧蔵写真群の全貌—地図と 写真に隠された戦後史—	加藤政洋・河角直美・前田一 馬

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	宗本 晋作

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
ベイジアンネットワークを用いた路上犯罪発生箇所の特徴に関する研究	共著	2022年7月	歴史都市防災論文集 vol.16	山崎良祐, 宗本晋作	pp.185-192
マルチモーダル深層学習を用いた街並み画像に対する人間の振る舞い予測-注視点傾向予測及び結果を付与した多次元データによる訪問意欲予測を対象に-	共著	2022年8月	日本建築学会、日本建築学会計画系論文集、第87巻 第798号	大野耕太郎, 山田悟史, 宗本晋作	pp.1602-1611
京都精華大学 明窓館	共著	2023年1月	新建築社、新建築、2023.1	宗本晋作, 三井住友建設	pp.112-119
META FOREST	共著	2022年10月	ARCHI-LABCO、Architecture and Culture 497	宗本晋作, Teawoo Jeon	pp.170-171

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
TOKIWA GARDEN	単独	2022年11月	2022 BUGAIK International Architecture Exhibition, Architectural Institute of Korea,	宗本晋作

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月 (西暦可)
the Pritzker Military Museum & Library	COLD WAR VETLAN MEMORIAL INTERNATIONAL COMETITION (最終4選)	Eternal Circulation	2022年

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	村中 亮夫

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
社会調査で描く日本の大都市	分担執筆	2022年2月	古今書院	埴淵知哉編	I-87-93

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
高等学校「地理総合」における防災教育教材の開発と実践—高知県室戸市吉良川町の海岸段丘とその周辺地域を題材として—	共著	2022年3月	2021年度室戸ジオパーク学術研究助成報告書	八巻栞, 村中亮夫, 矢野桂司	
安全安心マップ作成による地域防災力の向上のための課題に関する考察—「第15回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告を通して—	共著	2022年3月	京都歴史災害研究(23)	大橋弘明, Cheek Wesley Webb, 村中亮夫	29-38

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
新型コロナウイルス感染症流行下におけるGIS実習の実践と課題	共同	2022年3月	第15回四国GISシンポジウム	米島万有子, 谷端郷, 村中亮夫
スペースシンタックス理論に基づく地域住民のリスク認知の要因分析—京都府亀岡市篠町の道路構造に着目して—	共同	2022年10月	立命館大学歴史都市防災研究所2022年度第4回定例研究会	谷端郷, 村中亮夫, 中谷友樹

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	持田 泰秀

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
比抵抗を利用した埋込み杭の根固め液の圧縮強度評価手法	共同	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	長谷川拓磨、藤井衛、薄葉信、千種信之、新名正英、近藤壮一郎、持田泰秀
PCa工法と在来工法の材齢3年間におけるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その1:表層性能試験結果と材齢の関係	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	山田和輝、猪股史也、持田泰秀、坂田博史
PCa工法と在来工法の材齢3年間におけるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その2:水セメント比および含水率の影響と表層品質評価	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	猪股史也、持田泰秀、坂田博史
木材の節の圧縮強度への影響に関する研究 -能登ヒバの圧縮試験を通して-	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	猪口朝加、持田泰秀、船戸慶輔、宮田桂
伝統木造建築の修繕工事に関する研究 -柱基礎部材の修繕について-	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	村松凌太、福井開人、持田泰秀
既製コンクリート杭の現場施工品質確認のデータ送信に関する研究 -土中のソイルセメントについて-	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	眞庭颯大、持田泰秀、足立壮之、佐藤朗、益原絆
伝統木造建築の免震レトロフィット設計フローの提案	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	和田健吾、持田泰秀
杭状地盤補強工法の開発 -鉛直支持力の性能に関して-	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	持田泰秀、松本洋
埋込み杭の根固め液における比抵抗計測結果に基づく圧縮強度の評価	共同	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	近藤壮一郎、薄葉信一、新名正英、千種信之、藤井衛、長谷川拓磨、持田泰秀
EXPERIMENTAL STUDY ON DATA TRANSMISSION USED FOR CONSTRUCTION QUALITY CONFIRMATION OF EMBEDDED PILE CONSTRUCTION METHOD	共同	2022年11月	The Twelveth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Bangkok, Thailand, from 22-24 November 2022.	Yasuhide Mochida, Tatsuki Maniwa

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
大規模障害者施設の長期保全計画の立案	共同		2021年4月～ 2022年3月

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
水硬性固化材液、水硬性固化材液の調整方法、及び、置換柱体の築造方法	本学以外	その他		特開 2021-095320	特開 2021-095320	日本

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Developing and Evaluating Virtual Heiankyō AR	分担執筆	2022年7月	Springer Yoshiki Wakabayashi and Takashi Morita, eds. Ubiquitous Mapping: Perspectives from Japan (Advances in Geographical and Environmental Sciences)	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Dai Kawahara, Yousuke Shimomura, Osamu Furukawa	39-64

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
文化財防災研究や歴史災害研究への発掘調査データベースの活用	共著	2022年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集16	武内樹治, 矢野桂司	227-230
ひとり親世帯の公営住宅団地の地域選択における傾向：地理的限定と子供の成育環境に着目して	共著	2023年1月	都市住宅学会、都市住宅学116	式王美子, 伊丹絵美子, 上杉昌也, 趙賢株, 生川慶一郎, 河野学, 中西貢弓, 矢野桂司	126-136

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
コメント：総合知に向けた人文社会科学データの観点から	単独	2022年1月	公開シンポジウム「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」	矢野桂司
バーチャル京都を活用する	単独	2022年3月	第16回CODHセミナー「まち」や都市のデジタルアーカイブー歴史ビッグデータと実世界での利活用	矢野桂司
ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較	共同	2022年3月	2022年度日本地理学会春季学術大会	上杉昌也, 矢野桂司
Building GIS-based Place Name Directory of Japan for Promoting Spatial Humanities	共同	2022年7月	UGI-IGU PARIS 2022	Keij Yano, Mikiharu Takeuchi, Ryo Kamata
Construction of Open WebGIS for Archaeological Sites in Kyoto	共同	2022年7月	UGI-IGU PARIS 2022	Mikiharu Takeuchi, Keij Yano

文化財防災研究や歴史災害研究への発掘調査データベースの活用	共同	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	武内樹治, 矢野桂司
Japanese Old Maps Online for Promoting Digital Humanities	共同	2022年7月	Digital Humanities Conference 2022	Keiji Yano, Muneyuki Natsume, Satoshi Imamura, Ryo Kamata
空間ビッグデータを用いた都市内人口分布の時空間的把握—「コロナ禍」の京都市を事例に—	共同	2022年11月	2022年人文地理学会大会	花岡和聖, 矢野桂司

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Interactive workshop: "Sustainable Geodesign of Alexandria, Egypt vision 2030 "	共同	E-JUST	2022/11/29-30

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
デジタル資料からたどる昔と今のまちなみ	単独	2022年2月	令和3年度景観・まちづくり大学	矢野桂司
GISを活用したバーチャル京都構築	単独	2022年8月	Web3.0/メタバース勉強会	矢野桂司
現在、過去、未来の京都の時空間を重ねる「バーチャル京都」	単独	2022年12月	国際シンポジウム「[デジタル日本学]の可能性」第2部パネルセッション 日本研究×デジタルの拓く可能性	矢野桂司

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
人文地理学会	学会賞（一般図書部門）	矢野桂司『GIS地理情報システム（やさしく知りたい先端科学シリーズ8）』創元社, 2021年	2022年11月

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部日本史研究学域	教授	山崎 有恒

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
『中川小十郎－修身立命の人生－』	単著	2022年5月	金寿堂出版	山崎有恒	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「明治維新と日本の戦後史再考」	単独	2022年10月	日本・台湾・韓国国際ワークショップ「明治維新の意味」	山崎有恒

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「京都時代の京都の実業家たち」	単独	2022年11月	京都商工会議所講演	山崎有恒

研究業績書

対象期間	2022年4月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
深層学習を用いた伝統的建造物群保存地区の街路画像の分類	共著	2022年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集16(論文部門)	◎越智広樹, <u>山田悟史</u>	57-64
マルチモーダル深層学習を用いた街並み画像に対する人間の振る舞い予測-注視点傾向予測及び結果を付与した多次元データによる訪問意欲予測を対象に-	共著	2022年8月	日本建築学会計画系論文集87(708)	◎大野耕太郎, <u>山田悟史</u> , 宗本晋作	1602-1611

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
深層学習を用いた伝統的建造物群保存地区の街路画像の分類	共同	2022年7月	歴史都市防災論文集, vol.16, pp.57-64(論文), 2022.7, 歴史都市防災研究所	越智広樹, 山田悟史
カメラ映像に対する深層学習を用いた転倒検知の精度比較	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築計画), pp.1-2, 2022.9, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
医療施設における傷病者受け入れスペース設営マニュアルの掲載内容に関する考察	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築計画), pp.409-410, 2022.9, 日本建築学会	江川香奈, 山田悟史, 依田育士
三種の深層学習を用いた建築デザインの類似性の可視化と参照関係の解釈	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築歴史・意匠), pp.247-248, 2022.9, 日本建築学会	谷川奈央, 越智広樹, 山田悟史
深層学習を用いた景観画像の特徴把握 伝統的建造物群保存地区と周辺地域を対象に	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.63-64, 2022.9, 日本建築学会	越智広樹, 山田悟史
VR空間における経路デザインが心理評価に与える影響	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.170-180, 2022.9, 日本建築学会	小池田樹, 山田悟史
MR空間のパーソナルスペースの個室性が遠隔コミュニケーションの心理評価に与える影響	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.179-180, 2022.9, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
建築情報学の授業の理解と意欲に関するアンケート調査の報告	共同	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.235-236, 2022.9, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史

トーテミズム・アーキテクチャー ノースリムの美と共鳴する大地の化身	共同	2022年9月	日本建築学会大会（北海道）建築デザイン発表梗概集, pp.208-209, 2022.9, 日本建築学会	広中翔, 山田悟史
3Dデータを学習データとする深層学習を用いた分類器の現実空間への適用 人間には判別困難な差異を持つ物体の個体識別	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ発表 pp.42-43, 2022.12, 日本建築学会	越智広樹, 山田悟史
自然言語処理を用いた都市・建築の文字表現の類似性	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.148-151, 2022.12, 日本建築学会	谷川奈央, 山田悟史
MR空間を用いたサイバーフィジカルシステム 空間接続表現の提案	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.214-217, 2022.12, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
強化学習を用いたドローン点検経路の自動生成	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.68-71, 2022.12, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
コンテンツ生成AIが見せる拡張的なデザイン 認知拡張実験・異なるAIの比較・活用意向から	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.439-442, 2022.12, 日本建築学会	原田真衣, 山田悟史
生理的反応を取り入れた没入型仮想環境におけるデザイン生成システムの提案 Breathing Design Systemの開発と活用事例	共同	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ発表 pp.41, 2022.12, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
建築情報学会 短期集中型オンラインワークショップ「Fes」の運営	共同	コンピューショナルデザインの要であるデザインの変数について思考及び実装すること目的とした「Fes」に運営として参加。CODING+MAKINGでは参加者の相談役を担当。	2022年4月～ 2022年4月
南草津駅西口にてこだわり滋賀ネットワーク☆南部甲賀支部の主催する「第1回こだわりマルシェ」への制作物の出展	共同	2021年度CAD/CG演習で制作した段ボール家具等を出展し、段ボール家具の避難生活への活用などに関して簡易ヒアリングを実施。	2022年5月
立命館大学びわこくさつキャンパスにてワークショップ「文化財がなぜ大切かを体験的に学ぶー斗供を例にした木割法・木組ー」を実施	共同	文化遺産の大切さを体験的に学ぶカリキュラム・教材開発に関する研究の一環として、児童を対象に「ほぼ実寸の段ボール斗供」と「3Dプリンターによるミニチュア斗供」を用いて授業を開催。	2022年7月
建築情報学会 Challenge 2022「画像生成AI」の開催支援	共同	AIの創造性や人間とAIによるコラボレーションの可能性を思考する場として、コンテンツ生成AIを活用した企画 Challenge 2022「画像生成AI」の開催を支援。	2022年11月～ 2022年12月

東近江市躰光寺町弘誓寺にてワークショップ「文化財がなぜ大切かを体験的に学ぶ 一斗供を例にした木割法・木組」を実施	共同	文化遺産の大切さを体験的に学ぶカリキュラム・教材開発に関する研究の一環として、児童を対象に「ほぼ実寸の段ボール斗供」と「3Dプリンターによるミニチュア斗供」を用いて授業を開催（2022年11月19、26日）。	2022年11月
--	----	--	----------

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
デザイン科学における建築教育と情報－大学教育におけるデザインを学問として扱う－	単独	2022年9月	夏の建築学会全国大会 情報システム技術部門 研究協議会「建築と情報－これからの建築学に向けて」, 日本建築学会	山田悟史
建築情報学会 Challenge Kick-off	共同	2022年11月	建築情報学会 Challenge 2022 「画像生成 AI」, 建築情報学会	杉原聡, 山田悟史
建築情報学者と考える、未開拓分野への飛び込み方と歩み方	共同	2022年12月	ソニーコンピュータサイエンス研究所 京都研究室 researchfair 2022 Session 2 “科学で目指す、ゆたかな未来”, 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 京都研究室	山田悟史, 堺雄亮

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	山本 理佳

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
フィールドワークの現代思想—パンデミック以後のフィールドワーカーのために	分担執筆	2022年4月	ナカニシヤ出版	遠藤英樹編	117-128

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
フィールドワーク的観光の可能性—親密性をめぐる一試論—	単著	2022年1月	立命館大学人文科学研究紀要（131）	山本理佳	135-153

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ヘリテージをめぐる観光空間へのアプローチ	単独	2022年6月	人文地理学会 観光空間研究部会	山本理佳
観光における「リズム」と空間—COVID-19を契機とした時間地理学的視点への着目	単独	2022年7月	観光学術学会	山本理佳

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ツーリズムが求める産業遺産の歴史性とデジタルテクノロジー	単独	2022年1月	立命館大学土曜講座	山本理佳

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
木造住宅の設計情報及び微動計測を用いた非構造要素を考慮した初期層剛性の推定モデルの構築	共著	2022年1月	日本建築学会構造系論文集 87 (791)	◎羽原琢朗, 佐田貴浩, 岸本和貴, <u>吉富信太</u>	
座屈拘束ブレース設置による固有周期変動の抑制機構として 慣性質量ダンパーを用いたハイブリッド制振システムの配置及び性能の合理的設計法	共著	2022年12月	日本建築学会構造系論文集 87 (802)	◎原田大輔, <u>吉富信太</u>	

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	准教授	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
アンデス文明ハンドブック	分担執筆	2022年3月	臨川書店	関雄二監修／山本陸・松本雄一編	p. 312-325
Arqueologías Subalternas: Voces desde el Perú Pasado y Presente	分担執筆	2022年6月	Instituto Francés de Estudios Andinos (IFEA), Instituto Peruano de Estudios Arqueológicos (IPEA)	Tantaleán, H., Muro Yñonán, L. (Ed.)	p. 221-240

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Canales prehispánicos en áreas urbanas: Problemas y posibilidades del canal Lati en Lima, Perú	単独	2022年6月	日本ラテンアメリカ学会 第43回定期大会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ
Social Memory and Public Archaeology: Challenges of Connecting the Past and the Present in Peru	共同	2022年7月	World Archaeological Congress 9	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante, SEKI Yuji
Making the Past Public: Challenges and Possibilities for Archaeological Collections	共同	2022年7月	World Archaeological Congress 9	MAMANI QUISPE, Stefani, SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
連結する文化遺産：ペルー都市部における先史時代の道と水路をめぐる問題とその可能性	単独	2022年12月	古代アメリカ学会 第27回研究大会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	SHAKYA Lata

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, International training course 2021	共編者 (共編著者)	2022年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Rohit JIGYASU, Dowon KIM, Lata SHAKYA, Wesley Webb CHEEK, Hiroaki OHASHI	
ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性—ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として—	共著	2022年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol.16 (16)	里中涼華, 大窪健之, サキヤラタ, 金度源	219-226

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Disaster Risk Management on Educational Institutes and Its Role for Emergency Response Towards the Local Community	共同	2022年2月	13th NEAJ Symposium on Current and Future Technologies	Ram Shrestha and Lata Shakya
Issues on conservation and sustainability of Baha Bahi (Buddhist monasteries) of Nepal mandala	単独	2022年3月	A Buddhist Conference on "History, Culture and Practices in Baha Bahi of Nepalmandala"	サキヤラタ
歴史都市の伝統的空間と災害対応マネジメント—ネパールのパタン旧市街地を中心に—	単独	2022年5月	歴史都市防災研究所 2022年度 第2回定例研究会	サキヤラタ

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ネパール・パタンのリビングヘリテージ—歴史都市の生活文化、都市空間管理システムと災害レジリエンス—	単独	2022年5月	奈良まちづくりセンター 国際交流セミナー	サキヤラタ
Introduction to Bahabahi of Nepalmandala and objectives of the seminar	単独	2022年8月	A symposium on Tangible and Intangible Heritage	Lata Shakya
Emergency Response by Community Using Traditional Knowledge in Nepal	単独	2022年9月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2022	Lata Shakya
Panel Discussion: Cultural Heritage in Post-Disaster Recovery- towards Build Back Better	単独	2022年12月	ACCU International Symposium for Senior Professionals 2022	Lata Shakya

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	宮崎 彩

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Bottom up Approach to the World Heritage Conservation Mechanism: Three-Layered Actors of the Historic Center of Mexico City	単著	2022年7月	東京大学大学院 博士論文	宮崎 彩	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
世界遺産保全メカニズムにおけるボトムアップアプローチ：メキシコ市歴史地区における3層のアクター	単独	2022年12月	文化資源学会 第12回博士号取得者研究発表会	宮崎 彩

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
世界遺産とサステナビリティ—SDGsの実現に向けて—	単独	2022年11月	世界遺産アカデミー第50回記念特別講演会「世界遺産の今とこれからを考える」	宮崎 彩
持続可能な文化遺産の保全とはなにか	単独	2022年11月	九州大学法学部特別講演	宮崎 彩

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	李 敏

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Practical Use of a Fire Signal Sharing System as a Fire Prevention Measure in Historic Districts/Villages with Dense Wooden Buildings: Fire Risk Assessment and Disaster Prevention Planning Based on Resident Characteristics and Firefighting Resources in Preserved Historic Districts/Villages in Japan	共著	2023年3月 (予定)	Fire Safety Journal	Min LI, Yuji HASEMI, Wakako TANAKA, Yuna NOZOE, Minori NAGASAWA	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
世界文化遺産における災害危機管理計画の策定状況に関する研究	共著	2023年3月 (予定)	立命館大学歴史都市防災研究所 京都歴史災害研究	李 敏, 宮崎 彩, SHAKYA Lata, 大窪健之

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	補助研究員	白石 陽子

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
子どもの「幸せに生きる力」で社会を変える～セーフスクールを通して安全力を育てる～	単著	2023年1月	月間日本教育 NO.524（令和5年1月号）	白石陽子	8-9頁

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
How Safe Community programs can make our communities where people with vulnerability are well cared	単独	2022年10月	第25回世界セーフコミュニティ会議・第10回アジア地域セーフコミュニティ会議	白石陽子

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
だれもが安心して安全に暮らせるまちづくりに向けて～セーフコミュニティ活動～	単独	2022年5月	郡山市セーフコミュニティ推進協議会	白石陽子
だれもが安心して安全に暮らせるまちづくりに向けて～セーフコミュニティ活動～	単独	2022年5月	秩父市セーフコミュニティ推進協議会	白石陽子
セーフコミュニティで安全リスクに備える～防災編～	単独	2022年8月	亀岡市セーフコミュニティ防災対策委員会	白石陽子
50年後の秩父に向けた“まちそだて”	単独	2022年11月	秩父市セーフコミュニティ報告会	白石陽子
セーフコミュニティとSDGs～未来のために「だれもが幸せなまち」を育てる～	単独	2022年12月	十和田市セーフコミュニティ総決起大会	白石陽子
地域からまちを安全に	単独	2023年1月	鹿児島市セーフコミュニティフォーラム	白石陽子

研究業績書

対象期間	2022年1月1日～2023年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	補助研究員	林 祐妃

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討	共著	2022年11月	Kansai Geo-Symposium 論文集, Vol. 10	林祐妃・藤本将光・山田由生・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔	pp.153-157

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
道路斜面の土壌水分と土壌雨量指数の関係	共同	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会「宮崎大会」	林祐妃, 藤本将光, 山田由生, 宮崎祐輔, 小山倫史, 中井卓巳, 藤原康正, 岸田潔